テルモ株式会社

https://www.terumo.co.jp

《将来に向けた取組方針》

テルモは「医療を通じて社会に貢献する」という企業理念に基づき、医療の進化と患者さんのQOL向上に取り組むことを社会的使命（パーパス）と考えます。企業理念の実現に向けて7つのサステナビリティ重点活動テーマを定めており、社会価値の創造を支える基盤の一つとして、環境負荷の低減を掲げています。「カーボンニュートラルの実現」や「資源の有効活用」とともに、「生物多様性の保全」についても重要課題の一つと捉え、生態系に与える環境リスクの低減と地域での環境保全活動などに取り組んでまいります。

〈具体的取組み事例〉

●カーボンニュートラルの実現、資源の有効活用

テルモの温室効果ガス排出削減目標は、2023年3月にSBTイニシアチブの「1.5℃水準」の認定を取得しました。省エネルギー活動、自社施設内への太陽光発電パネルの設置など、再生可能エネルギーへの転換を推進し、2040年にカーボンニュートラルの実現を目指します(Scope1+2)。また、廃棄物の削減や資源の有効活用（サーキュラーエコノミー）、人にも環境にもやさしい製品の開発などにも取り組んでいます。

●生物多様性の保全

テルモは富士山麓から湧き出る地下水を利用して医薬品や医療機器を生産しています。地下水の源となる森を守り育てていきたいという想いから、2003年より「テルモ富士山森づくり」活動を続けています。2011年には、静岡県、森林所有者、およびテルモの三者で「しずおか未来の森サポーター協定」を締結し、植林や森林整備を実施しています。また、日本だけでなく、海外の各拠点でもリサイクル意識向上のためのイベントの開催や植樹活動などの生物多様性保全への取り組みを行っています。

太陽光発電パネルの設置

工場からの廃プラスチックを再資源化

富士山森づくり活動の様子

〈社会に向けたメッセージ〉

地下水の源となる森を守り育て、生物多様性の保全につなげていくため、カーボンニュートラルや資源循環の取り組みと相関させながら活動します。